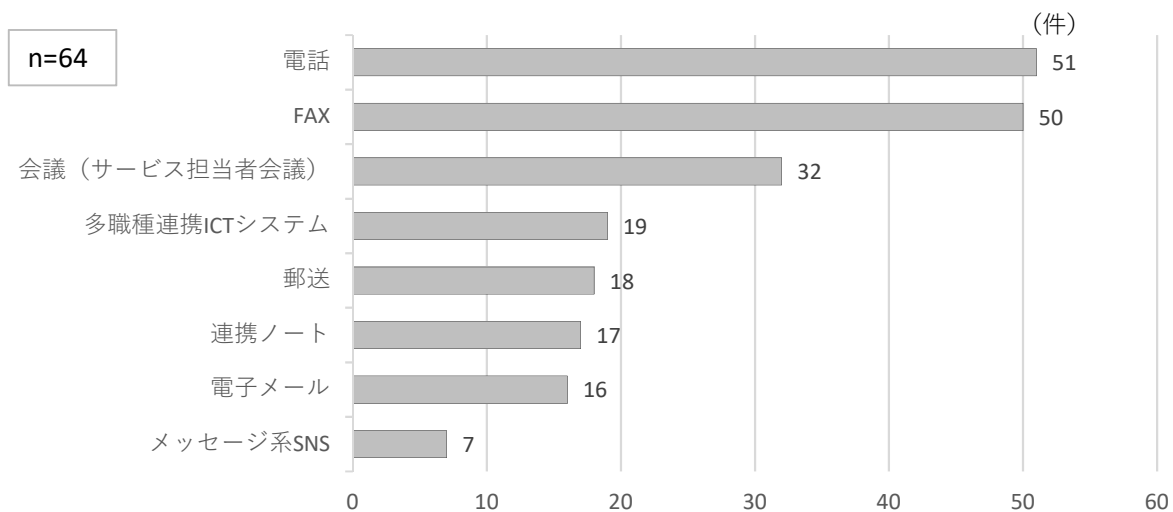


1-1.医療・介護関係者の間で情報共有をするツールはどれを使用しているか（複数選択可）

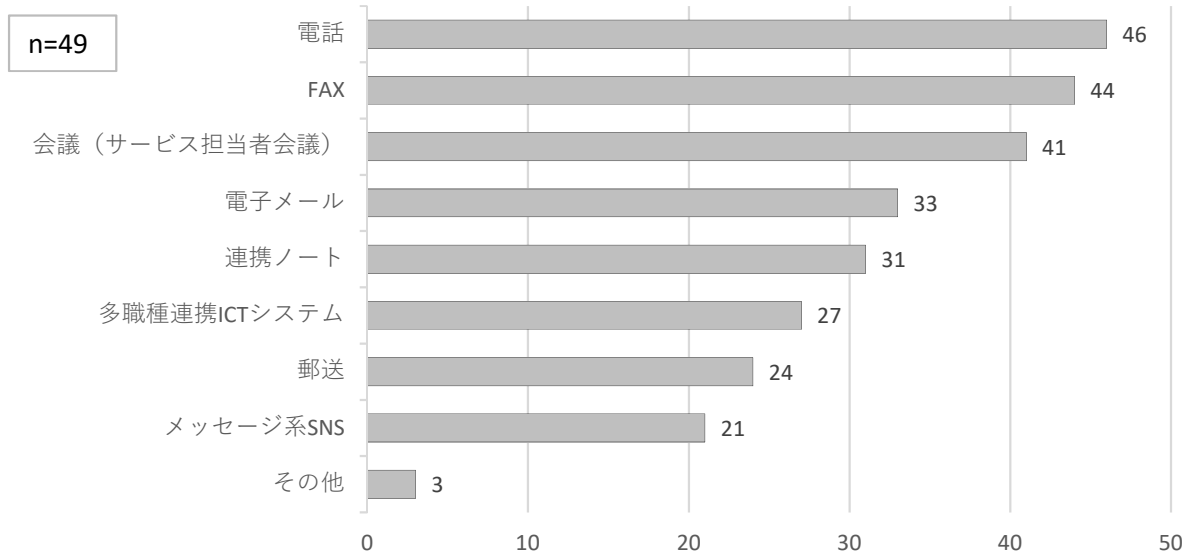
【医療機関】

○「電話」と「FAX」が多い



【介護事業所】

○医療機関の結果と比較して「会議（サービス担当者会議）」の割合が多い



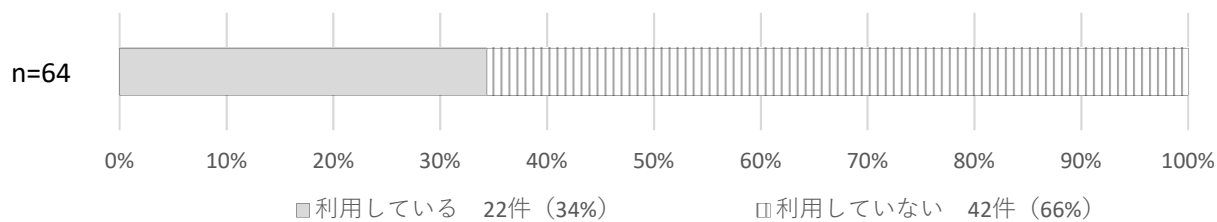
<その他の回答>

・ ChatWork ・ ワイズマン ・ ASPサービス

1-2.多職種連携ICTシステムを利用しているか

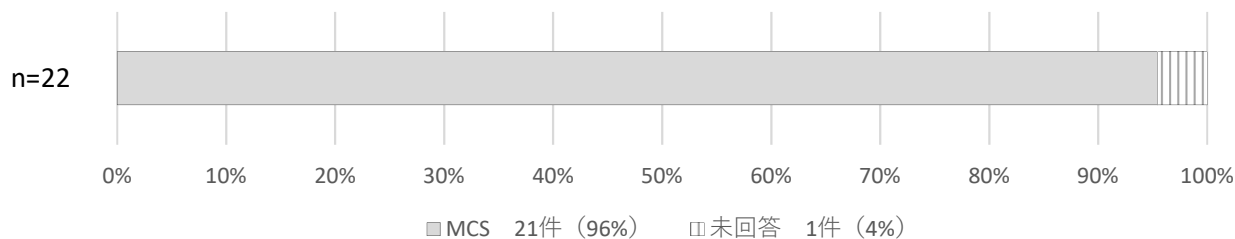
【医療機関】

○「利用していない」が半数を超えている



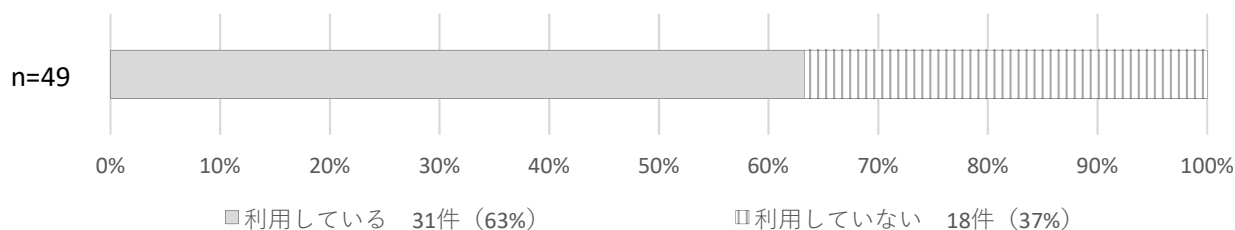
利用している場合、システムの種類

○MCSの割合が9割以上を占める



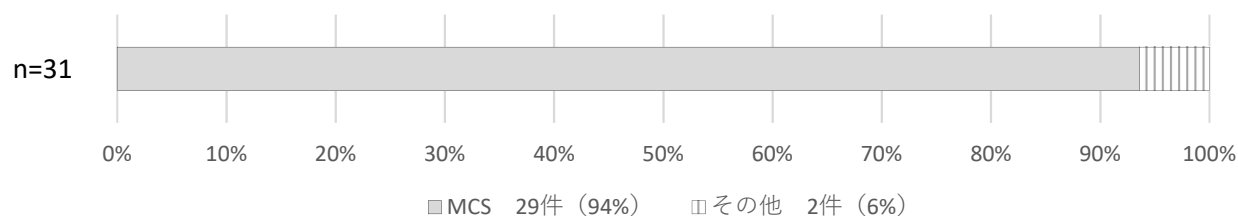
【介護事業所】

○「利用している」が半数を超えている



利用している場合、システムの種類

○MCSの割合が9割以上を占める



「その他」の回答

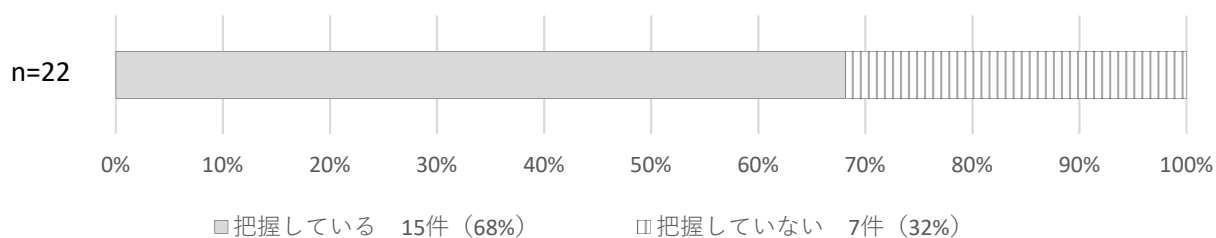
- ・先方に合わせて変わる為、複数になる事もあるが、近年はMCSが多い印象
- ・自社システム salesforce

以下、設問1-2で多職種連携ICTシステムを「利用している」と回答した医療機関・介護事業所に対する設問

1-3.利用している人数及びグループ数を把握しているか

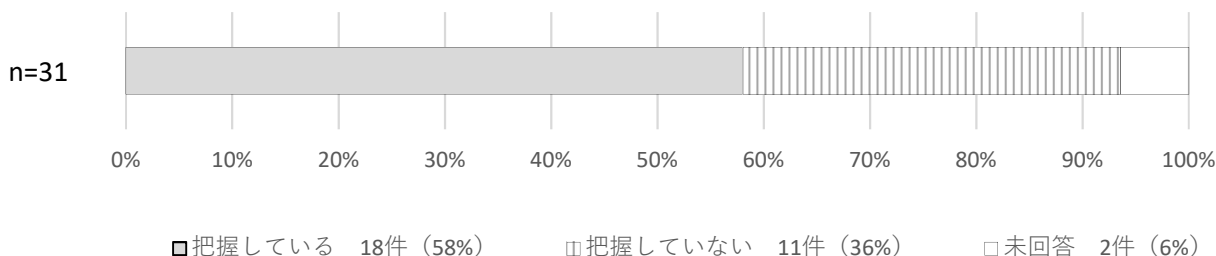
【医療機関】

○「把握している」が半数を超えている



【介護事業所】

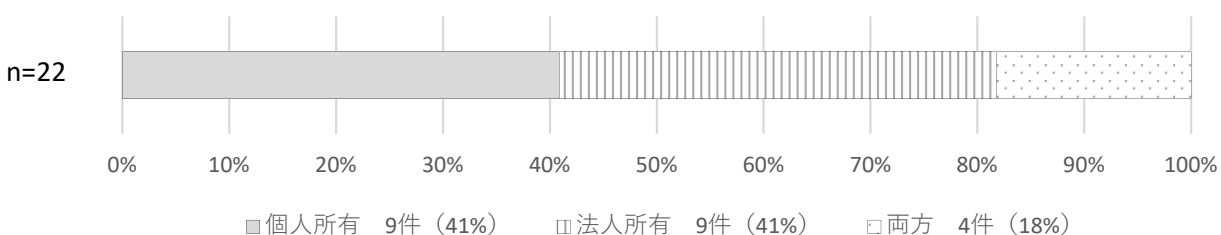
○「把握している」が半数を超えている



1-4①.使用している端末は個人所有か、法人所有か

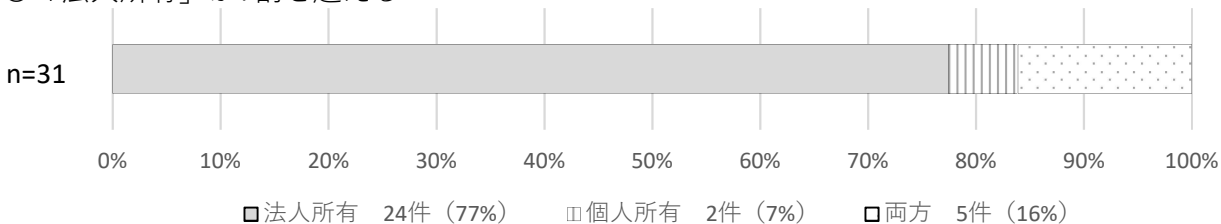
【医療機関】

○「個人所有」と「法人所有」が同じ割合



【介護事業所】

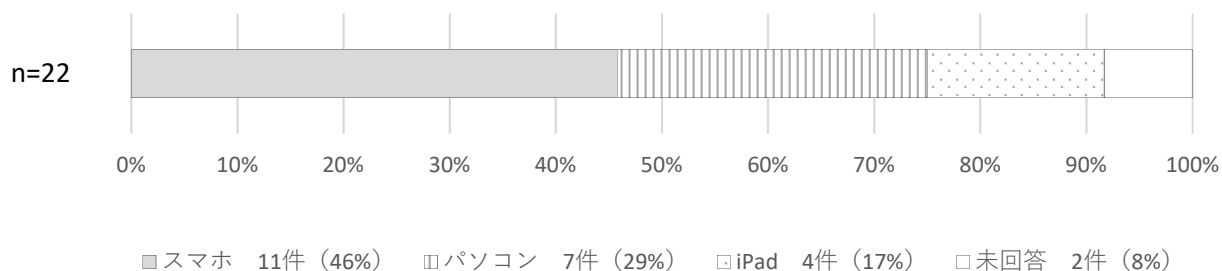
○「法人所有」が7割を超える



1-4②.端末の種類（複数回答可）

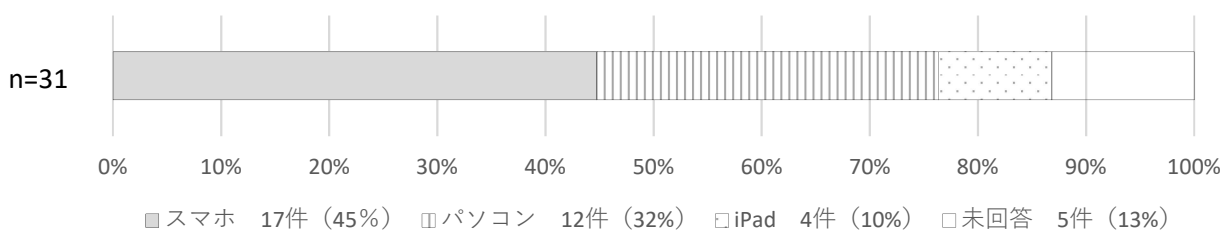
【医療機関】

○「スマホ」の割合が半数近い



【介護事業所】

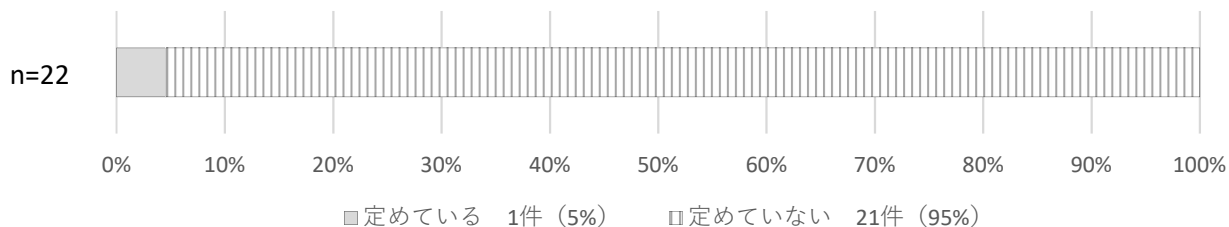
○「スマホ」の割合が半数近い



1-5.診療所・薬局で多職種連携ICTシステムの運用ルールを定めているか

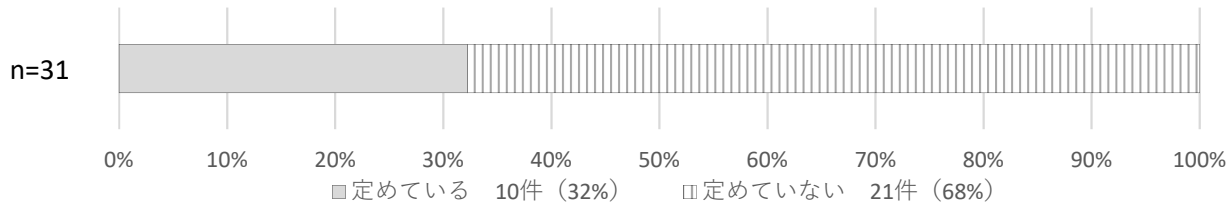
【医療機関】

○「定めていない」が9割を超えている



【介護事業所】

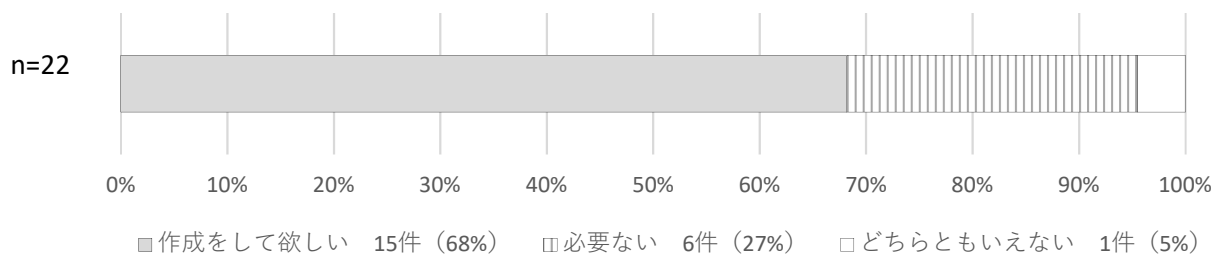
○「定めている」が約3割



1-6.統一した運用ルールをまとめた運用ポリシーがあった方が良いか

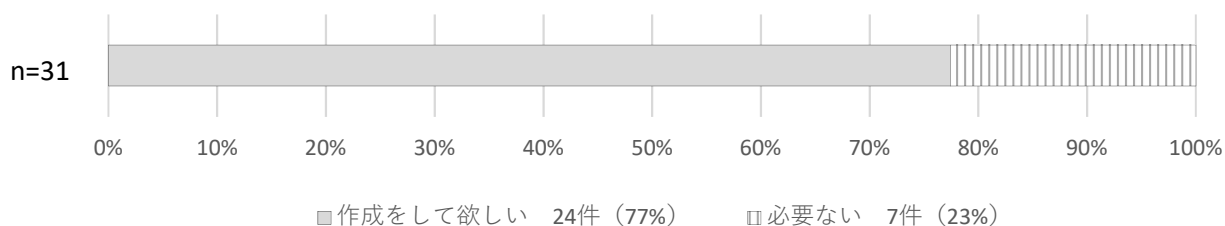
【医療機関】

○「作成をして欲しい」が約7割



【介護事業所】

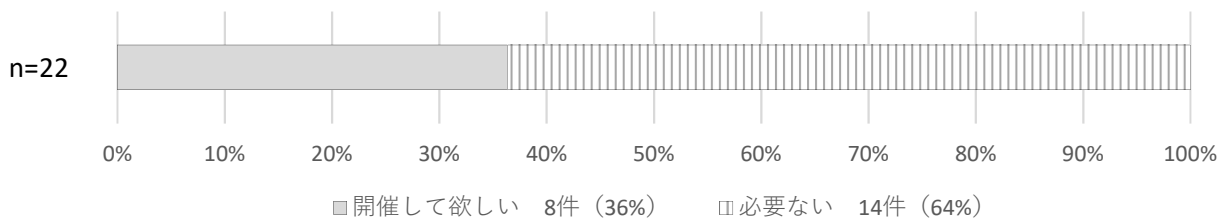
○「作成をして欲しい」が約8割



1-7.多職種連携ICTシステムの使用に関する研修会を開催して欲しいか

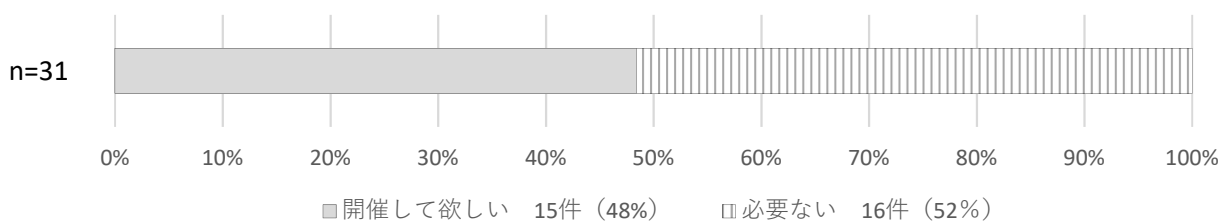
【医療機関】

○「必要ない」が約7割



【介護事業所】

○「開催して欲しい」と「必要ない」がほぼ同じ割合



1-8.多職種連携ICTシステムの利用で困っていることや区への要望はあるか

【医療機関】

- ・loginするひと手間が面倒
- ・MCSは、とりあえずの連絡ツールとしては便利だが一覧性に乏しく使い勝手は良いとはいえない
- ・端末は個人持ちとならざるを得ない。行政なりが利用者全員の専門端末を配布するようなことは現実的ではない。数年前、事業所ごとにタブレット配布のような話があったが、概念的である
- ・招待者の顔がわかっている人とは有効だが、そうでないと招待されても返信しないものである。
- ・しょっちゅう使っているから使えるのであって、わざわざ使いたくなるものではない。
- ・運用ルールの例などの議論や講習はあってもよいが、強制されるようでは使いたくなくなる。脱退するとき(退職や担当交代など)のシステムからの離脱方法は、皆、知っているのか？と心配ではある。このへんは詳しい人の話をききたい。
- ・個人情報の取り扱いについて
- ・24時間連携可能な長所と自身のメールにもその都度連絡が入る事で、業務中とその時間外の境がなくなっている。
- ・ICTシステムの招待は誰がするのか。ルールがないのでどうしたらよいかわからない。担当の医師やナースステーションによって異なるのがわかりにくい。

【介護事業所】

- ・セキュリティーの問題
- ・区役所やおとしより相談センター、利用していない事業所も使ってもらえると情報共有が簡便になるので導入検討して頂きたい
- ・医療系、特に訪問看護事業所に参加して欲しい
- ・主治医が利用していないケースがありグループを作ることができない
- ・システム利用で困っていることは現在はない。システムを利用し、どのような連携の形にしていく方向なのか？
- ・統一した運用ルールや、研修会は参考程度という形であれば有り難いが、ICTによる効率化に対して懸念を持っている方への助長になってしまわないかは心配
- ・セキュリティーの問題はないか？退職したアカウントの管理はどうなるか？万が一個人情報漏洩した場合の対応方法と責任の所在を教えてほしい
- ・一から資料やマニュアル等を作成すると時間を要すと思われる。また、各事業所で細かな違いがあると思われるので、各事業所がカスタマイズできるような形でデータ配布などをしてもらえると助かる。

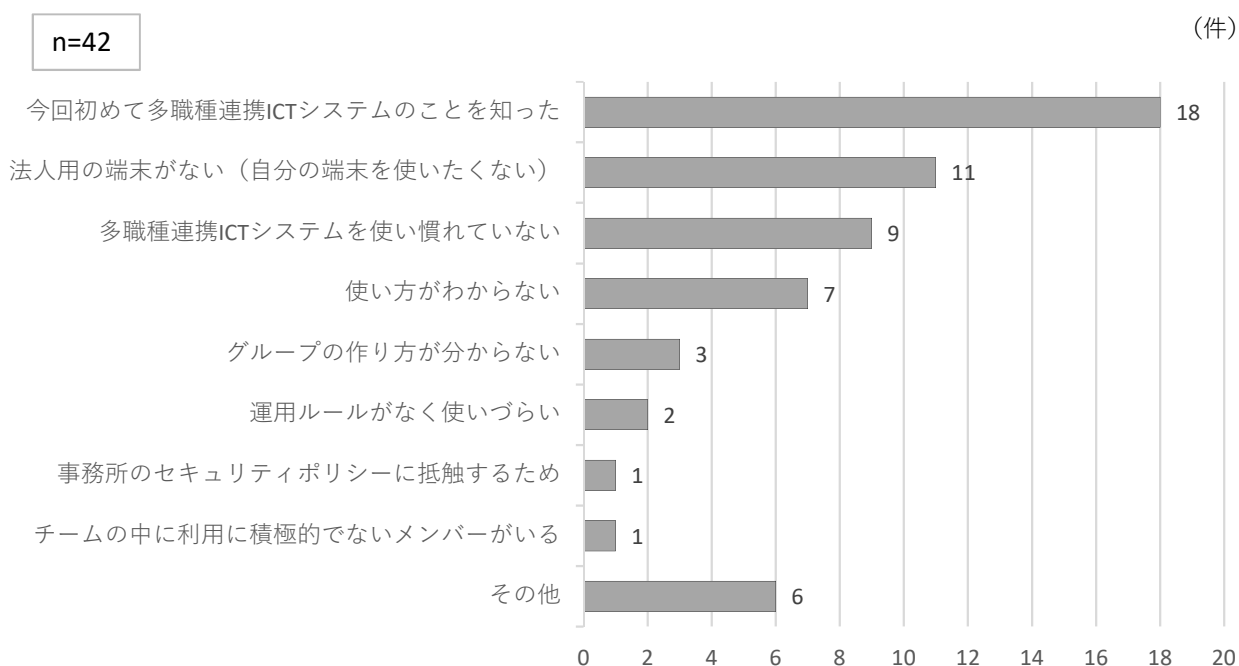
- ・会社としてのポリシー等無く、所長や管理者の判断によるところが大きく、組織的な判断を考えている管理職にとっては大きな負担
- ・中小事業所では、会社としてのポリシーが無い事や組織として体を成していないため、事業所内での利用に関して、管理が個人単位となり杜撰になるリスクが高い。個人単位での管理の場合、報告が無いと管理者や上長が件数やグループの数字を正確に把握することは非常に困難。（個人情報などを考えるとほぼ不可能）
- ・MCS利用件数が多くなった場合、メリットのひとつである、タイムリーな共有連絡が難しくなる。（利用開始時の判断（トリアージ的なもの）等、対応事例があれば参考にしたい）
- ・ポリシーがないので、親会社が認めてくれない
- ・MCSは非常に便利であるので運用促進できるのであれば有難い
- ・MCS自体を知らない事業所やスタッフもいて導入がなかなかすすまない利用者さんもいる。リアルタイムに情報共有できないなど、MCSを導入している利用者さんと比べると不便を感じることが多い。

以下、設問1-2で多職種連携ICTシステムを「利用していない」と回答した医療機関・介護事業所に対する設問

2-1.多職種連携ICTシステムを利用していない理由（複数回答可）

【医療機関】

○「今回初めて多職種連携システムのことを知った」が一番多い



<その他の回答>

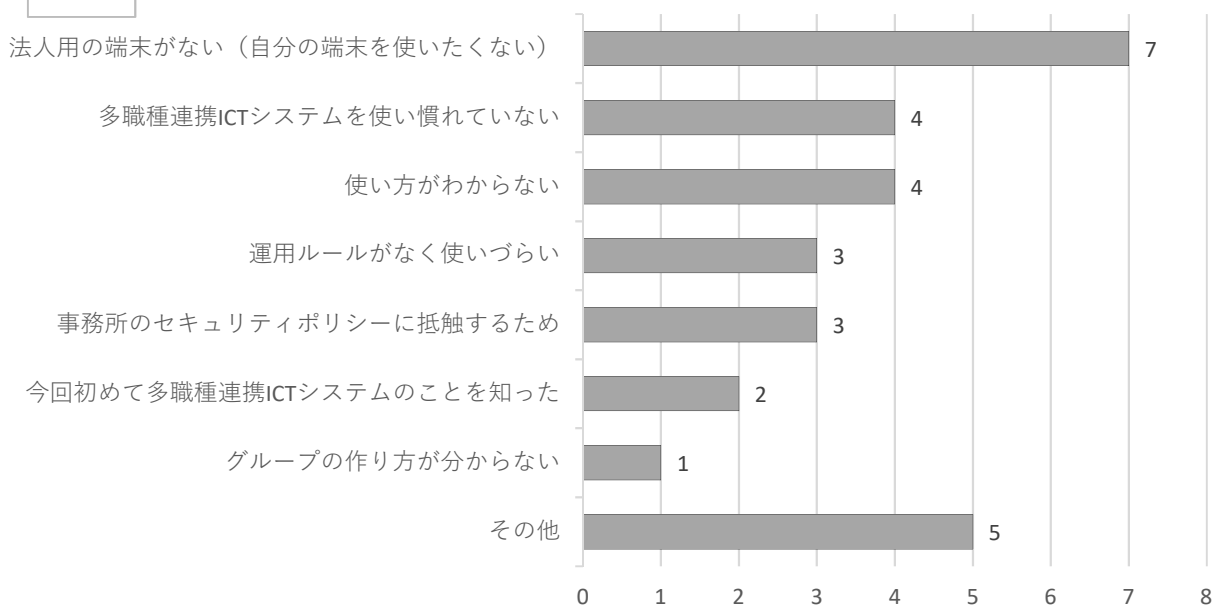
- ・在宅業務を行っておらず、使う機会がない
- ・病院ドクターやケアマネジャーが積極的であればいつでも参加したいと思っている
- ・広範囲で診療しており、統一できない
- ・現在、在宅診療の患者がいない
- ・時間がなく、すぐに反応出来ないなので、期待されても困る

【介護事業所】

○「法人用の端末がない（自分の端末を使いたくない）」が一番多い

n=18

(件)



<その他の回答>

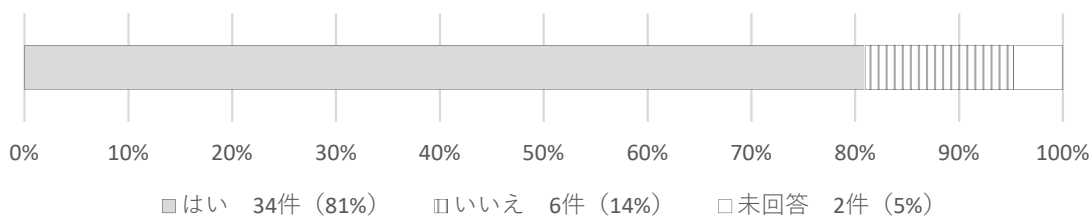
- ・会社が許可していない
- ・I C Tを使っている事業所を利用している利用者様が居ない。使いたくても、法人用端末を他の事業所が持っていない(特に、医療より介護職種の方が圧倒的に持っていない)。
- ・区から使用して良いと言われていない
- ・本社判断にて行っていない
- ・現在使用しているシステムで特に不足がない。ショートステイ事業についてはあったら便利かもしれないと思う

2-2①.多職種連携ICTシステムを運用してみたいか

【医療機関】

○「はい」が8割を超える

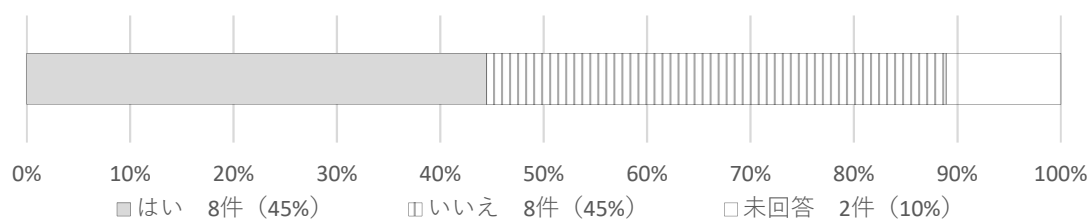
n=42



【介護事業所】

○「はい」と「いいえ」が同じ割合

n=18



2-2②.上記の設問で「いいえ」の場合 多職種連携ICTシステムを運用したくない理由

【医療機関】

- ・現在の状況に不便を感じないため
- ・広範囲で診療しており、現段階で運用を統一できない
- ・FAXや電話のやり取りで不自由がないから
- ・セキュリティに不安

【介護事業所】

- ・情報に対応しかねる
- ・使用することで業務が効率化できるのであれば使ってみたい
- ・地域包括の立場だと、区民全員が対象となり、また契約を取り交わしていない人も対象となるため、難しい場面が出てくると思う
- ・業務時間関係なく縛られてしまう印象がある
- ・分かりづらい
- ・どんなものか不明
- ・利用者さんの所へ直接対応した方が家屋状況、動作確認なども出来、書類にサインなどもある為

2-3.多職種連携ICTシステムを利用するために区へどのようなことを希望するか

【医療機関】

- ・共通システムを1つにして、全国、全患者で、多職種全員共通で使えるようにすることを希望
- ・使用方法を教えて欲しい
- ・システム導入の流れや、利用者の声を聞きたい
- ・認知度を上げて欲しい
- ・金額をもっと安くしてもらえるような働きかけをしてもらえたらと思う
- ・医療機関、薬局ともに同じシステムの導入、統一が必要
- ・導入サポート窓口の設置・運用方法の広報など
- ・ICTシステムについてと使い方の説明
- ・基幹となるシステムセンター的な役割
- ・最初の契約時にICTシステムを活用することを、ケアマネや医師から提案して欲しい
- ・使用する機器の提供と、運用の説明。情報管理、セキュリティー対策を厳重に行うこと
- ・簡便性を希望
- ・どんなスタッフでも使いやすいような簡略化やマニュアル化
- ・講習会の開催
- ・医療機関へのICT活用の普及を強化していただくことを希望（参入しやすい環境づくり、統一した運用ルールの作成）

- ・在宅患者がいらないため、介護関係者と連携する機会がないが、今後在宅を取り組んでいくにあたってシステムを知っておきたい
- ・わかりやすい説明を。
- ・もっと宣伝してほしい。導入にあたりコストはできるだけ抑えたい。
- ・システムの案内や講習会などを通して利用を前向きに検討できるようなお知らせをしてほしい。ケアマネ、ヘルパー、看護師、医師すべてのかかわる人が同じシステムを使えると情報共有として有用だと思う。
- ・現状のツールより効率的に感じるため使用してみたい。使用したことがないのでシステム上の希望を記載できずすみません。

【介護事業所】

- ・使用したいが、本社の意向で導入が難しい
- ・運用ルールや、繋がったあとに抜けることができるかどうかを確認したい
- ・専用端末へのサポート
- ・プライバシーポリシーの雛形
- ・利用方法など分かりやすく説明して欲しい
- ・事業所への導入の進め
- ・マニュアル的なものがあればうれしい。個人情報の不安もあるのでセキュリティがしっかりしたものがあればと思う。
- ・使用方法など詳しい説明があれば始めやすい

－ アンケート結果まとめ －

○運用ルールや統一のポリシーを作成してほしい

- ・個人情報の取扱いについて
- ・セキュリティーが不安
- ・各事業所がカスタマイズできるような形でマニュアル等のデータ配布をしてほしい
- ・プライバシーポリシーのひな形
- ・ポリシーがないので親会社が認めてくれない

○MCSを周知してほしい

- ・MCSがどのようなものか分からない
- ・運用方法の広報
- ・システム導入の流れや利用者の声を聞きたい
- ・MCSを知らない事業所やスタッフがいて導入がなかなか進まない

○ICTシステムの使い方が分からない

- ・使用方法の説明
- ・講習会の開催
- ・どんなスタッフでも使いやすいよう簡略化やマニュアル化
- ・退職や担当交代などによるシステムからの離脱方法の周知
- ・システムへの招待は誰がするのか

○法人用の端末がない

- ・端末は個人持ちとならざるを得ない
- ・使いたくても法人用端末を他の事業所が持っていない

○業務時間外の連絡について

- ・24時間自身のメールにもその都度連絡が入る事で業務中と時間外の境がなくなっている
- ・業務時間関係なく縛られてしまう印象がある

○多職種の事業所で使用してほしい

- ・区役所・おとしより相談センターや利用していない事業所も使ってもらえると情報共有が簡便になる
- ・医療機関、特に訪問看護事業所に参加してほしい

○ICTシステムを利用することができない

- ・会社が許可していない
- ・本社判断にて行っていない